

製品名: FOXP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81178**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	75.3kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXP1
別名	QRF1; 12CC4; hFKH1B; HSPC215; FLJ23741; MGC12942; MGC88572; MGC99551
遺伝子 ID	27086.0
SwissProt ID	Q9H334
免疫原	大腸菌で発現したヒト FOXP1 (AA: 481-677) の精製された組み換え断片。

背景

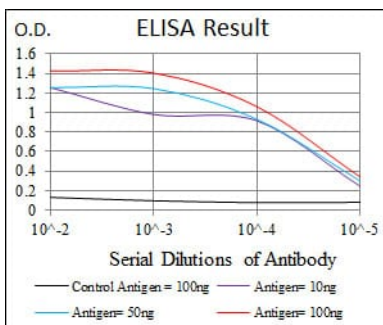
この遺伝子は、フォークヘッドボックス (FOX) 転写因子ファミリーのサブファミリー P に属します。フォークヘッドボックス転写因子は、発達期および成人期の両方において、組織および細胞型特異的な遺伝子転写の制御において重要な役割を果たします。

フォークヘッドボックス P1 タンパク質は、DNA 結合ドメインとタンパク質間結合ドメインの両方を含みます。この遺伝子は、いくつかの腫瘍型で欠損しており、腫瘍抑制遺伝子の存在が報告されている染色体領域（3p14.1）にマッピングされているため、腫瘍抑制因子として機能する可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。

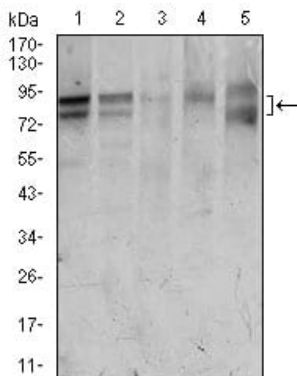
研究分野

-

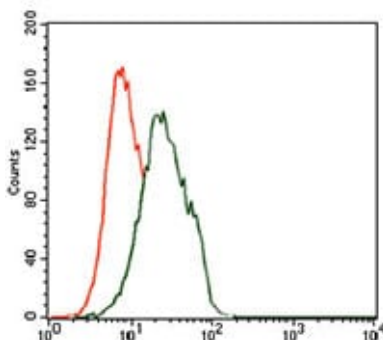
画像データ



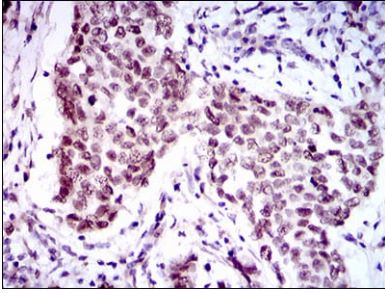
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



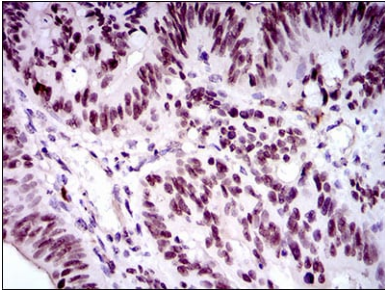
FOXP1 マウス mAb を用いた HeLa (1)、Jurkat (2)、MCF-7 (3)、T47D (4)、および Raw264.7 (5) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



FOXP1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による FOXP1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による FOXP1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。